



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☑(076)221-5398

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/>

国際会長主題	「希望の灯となろう」 “Be the light of Hope”
スローガン	「わかち合いは微笑みをもって」 “Share with a smile”
アジア会長主題	「希望の灯となろう」 “Be the light of Hope”
スローガン	「より良き奉仕のために共に働こう」 “Working together to serve better”
西日本区理事主題	「思いやりを持ってワイズライフを！-わかち合いは微笑みをもって-」 “Enjoy Y's life with Consideration! - Share with a smile-”
中部部長主題	「楽しくワイズ、スクラム組んで」
金沢犀川クラブ会長主題	「地球的に考え、足元で行動しよう」 “Think globally and act locally”
会長：平口哲夫 副会長：三谷信三 書記：北肇夫 会計：高木啓一 直前会長：川村孝治	

今月の聖句：愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みをいだかない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。 コリントの信徒への手紙一 13. 4-7

2009年2月強調月間

TOF・CS・FF

私たちが共に歩む仲間？「世界へ，アジアへ，地域へ，HIV/AIDSへ，環境へ！」
私たちの持っているものを分かち合うために…TOF・CS・FFを

杉浦 眞喜子 地域奉仕事業主任

☆☆☆ 2月第一例会案内☆☆☆	☆☆☆1月例会報告☆☆☆
<p>日 時：2月22日(日) 16:00~23日(月)12:00 場 所：山中温泉河鹿荘ロイヤルホテル 〒922-0126 石川県加賀市山中温泉河鹿町ホー100 会 費：20,000円 (ゲスト登録費 15,000円) 初日 17:00 から会員のみにより議事(次期役員選出、DVD鑑賞など)を行い、18:00 からゲストを迎えて下記プログラムに進みます (翌日朝食後は自由)。</p> <p style="text-align: center;">***プログラム***</p> <p>司 会 : 作田 君 開会・点鐘 : 平口会長 ワイズソング : 一 同 今月の聖句 : 司 会 者 ハッピーバースデイ : 平口会長 ニコニコタイム : 澤瀬 君 閉会・点鐘 : 平口会長 —— 会 食 (懇親会) —— 食前の感謝 : 三谷 君</p>	<p>[第一例会] 日 時：1月22日(木) 19:00~21:00 場 所：兼六城下町2階「時雨の間」 卓 話：「アンネの日記」 出席者：川村君、北君、作田君、澤瀬君、高木君、平口君、三谷君、田村氏(卓話者)、木越さん、中本さん</p> <p>[第二例会] 日 時：1月29日(木) 19:00~21:00 場 所：金沢YMCA 出席者：川村君、北君、高木君、平口君、三谷君</p> <p>[3月第一例会] 日 時：3月12日(木) 場 所：兼六城下町2階「時雨の間」 卓 話：金森俊郎教授(北陸学院大学) 3月の当番 司会：澤瀬君、準備：高木君 今月のハッピーバースデイ 三谷君、三谷メネット、川村メネット *後期クラブ会費をご持参下さい *使用済み切手をご持参ください。</p>

当クラブ	1月出席者	1月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 7名	メン 7名	100%	前年度繰越 1,390g	1月分 0円
広義会員 0名	メネット 0名		1月分切手 0g	
	スピーカー 1名	メイキャップ 0名	今年度累計	
	ビジター 0名		切手 0g	
	ゲスト 2名		現金 0円	
合計 7名	10名	100%	合計 1,390g	累計 41,769円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

1月例会卓話“アンネの日記”感想記

北 肇夫

今年最初の第一例会は、1月22日(木)兼六城下町“ホテル兼六”にて、北陸大学の田村光彰教授をお招きして開催されました。田村先生は“アンネの日記”を中心に過去・現在・将来を見つめ、時代背景の考証も盛り込んでお話してくださいました。

今回の卓話は、予想以上に多岐にわたる事柄が様々な切り口で紹介されました。豊富な資料と映像を活用し、優しい物腰での語らひは理解しやすく、感銘深いものがありました。特に印象に残ったことを以下に記します。

- ①“アンネの日記”を通して、ナチ占領下の異常な環境の中で13歳から15歳という思春期を過ぎた少女の夢と悩みが、瑞々しく甦ってきたこと。
- ②この日記は、永遠の青春の記録として、半世紀を経たいまでも世界中の人びとの胸を打ってやまないこと。
- ③アンネと同世代の女優オドリ・ハップマンの人生とも関係があるという興味深い話も紹介されたこと。
- ④数100万人が収容された強制収容所から奇跡的に生還した例として、「アウシュビッツの恋」の物語が紹介されたこと。
- ⑤ドイツの政治指導者の戦後反省として「ヴァイツェッカーの演説」を例にあげ、過去を忘れぬことの重要性が指摘されたこと。

所要時間が1時間程度でありながら、メリハリの効いた興味深い内容であったため、あっという間に時間が経ったように感じられました。



前列左から二人目が田村教授

『ワイズ読本』を読んで(その1)

平口哲夫

2008年11月にワイズメンズクラブ国際協会東日本区・西日本区が発行した『ワイズ読本』について、拾い読みに感想を述べさせていただきます。

「1 ワイズ国際の現況」が紹介する8エリア会員数の動向に興味がありました。ワイズ活動の中心が米国から欧州へ、さらにアジア・インドへと移行し、議員数で見た場合、いまやアジアは7議席エリア、インドは5議席エリア、欧州は4議席エリアなのに、米国はアフリカ・カナダ・中南米・南太平洋と同じ1議席エリアという状況です。

「4 世代を超えて伝えたいこと」には、国際赤十字

の創設者として名高いデュナンがスイスYMCAの代表としてハリ基準の基礎案策定に加わっている、ということが記されています。実は、「戦争と平和」という担当授業の中でデュナンのことを話題にしているのですが、彼がYMCAの会員だったということを初めて知りました。

「5 ワイズメンズクラブが生き続けるために」の序文に、「ワイズメンズクラブのことを十分に学ばないままのリーダーシップによるクラブ運営は、クラブのなかに会員の学びと鍛えるプログラムがなく、惰性に流された運営を行った結果としての現実が散見されます」という厳しい言葉が記されています。また、「ユース」の節では「会員の資質」について「一定の収入があり、心身共に健康で明るく、活動的で家庭が円満であり、人格も問われます」とのことです。これはもちろん望ましい資質ではありますが、そのすべてを満足する人材はそうたやすく得られるものではなく、私自身、残念ながら上記の資質を満身に備えているわけではありません。

「8 奉仕クラブの基本的問題について」はいかにも法律家らしい、ちょっと難しい表現の多い文章ですが、「ワイズメンズクラブの特徴」として掲げられた「一業種二会員制」とはどういうことかと思っ、日本区定款第3条第5項を参照してみたところ、「クラブにおける職業分野の会員構成は、同一業種に偏らず、2名以内を原則として、できる限り多くの職業分野にわたるよう努めるものとする」とありました。なるほど、そういえば我がクラブ7人の職業はまったく違いますね。「同志の集まり」という「等質の中で職業体験の異なる発想が、異質なるが故に社会改良のエネルギーに迄たかめられる」という「等質の中の異質論」に賛成です。

「10 ワイズの真髄をたずねて」におけるワイズメンズ国際憲法モットーの解説は、『ワイズ必携』(2001)とほとんど同じですが、この点についてはブリテン2008年10月号の拙文で指摘したように、「権利」と「義務」、「自由」と「責任」が対をなすのですから、「義務はすべての権利に伴い、責任はすべての自由に伴う」と併記したほうが分かりやすいと思います。

“ロールバックマラリア”への取り組み

高木啓一

“ロールバックマラリア”とは、国連とワイズメンズクラブ国際協会からの呼びかけに応じて、殺虫処理された蚊帳、予防ワクチン、栄養剤その他をパックした「マラリア感染予防パッケージ」を発生地域へ送ろうという運動です。

このプログラムに世界中のワイズメンが協力しようと、西日本区地域奉仕・環境事業主任の杉浦真喜子さんより、号外として1,000セット(1セット900円)を目標にこの協力要請が来ました。国際協会の目標は20,000セットです。

マラリアの根絶はとても困難な作業であり、現実的には感染の予防が最大の対策と思われます。犀川クラブでは、このプログラムに全員参加しようとの合意を得て、一人当たり900円7名で総額6,300円を12月29日に献金いたしました。

金沢YMCAのホームページ

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/kanazawa-YMCA.html>